



2025年2月3日

各 位

## (経過開示)RWA第1弾 GPUトークン (AID、仮称) 本格始動のお知らせ

～GPUトークン (AID、仮称) の本格始動、Wowooエコシステム上でのトークン発行に関して～

当社子会社であるGFA Capital株式会社（以下、「GFA Capital社」といいます。）は、RWA (Real World Asset) 市場への本格参入の第1弾として発表しておりました、GPUトークン (AID、仮称) の発行・上場支援に関し、Wowoo（以下、「WWB」といいます。）エコシステム上でのトークン発行準備を完了し、プロジェクトを本格始動することをお知らせいたします。

### 1. GPUトークン (AID、仮称) の本格始動とWWBエコシステムでの発行決定

GFA Capital社は、暗号資産市場におけるトークンエコシステムの最適化を支援する過程で、AIデータセンターにおけるGPUリソースの効率的な運用を可能にするGPUトークン (AID、仮称) の発行・上場支援を進めてまいりました。

今回、WWBエコシステムとの統合を前提とした最終的な発行設計が完了し、トークンの発行および流動性提供を含む本格的な運用フェーズへ移行することとなりました。

WWBエコシステム上でのGPUトークン発行は、同プラットフォームが持つ既存のホルダー基盤（5万人超）を活用しながら、よりスムーズな流動性確保とユーティリティ拡充を目的としています。

GFA Capital社は、GPUトークン (AID、仮称) を通じて、RWA市場における新たな活用モデルの確立を進めるとともに、WWBと連携したエコシステムの最適化に取り組んでまいります。

### 2. GPUトークン (AID、仮称) のユーティリティと今後の展開

GPUトークン (AID、仮称) は、以下の主要なユーティリティを持つトークンとして設計されています。

- ・AIデータセンターのGPUバーチャルオーナーシップをトークン化
- ・GPUリソースのバーチャルレンディング機能を提供し、ユーザーがレンディング報酬を受け取る仕組みを実装
- ・ステーキング機能の提供により、AIデータセンターの実収益を原資産に、安定的な収益をトークンホルダーへ還元
- ・WWBエコシステム内でのトークン経済圏の拡大（ステーキングやレンディング報酬の一部をWWBホルダーにエアドロップ）
- ・AIデータセンターが受益する将来の売上を担保にし、収益分配を受けられることを見越した、将来的なSTO（セキュリティ・トークン・オファリング）との連携も視野に入れた設計

## ・半導体評価ノウハウを有する外部上場企業との提携

今後、GFA Capital社はGPUトークン（AID、仮称）の上場に向けた最終調整を進めるとともに、WWBとのエコシステム統合を完了し、暗号資産市場におけるRWA活用の新たな事例として本プロジェクトを推進してまいります。

### 3. 今後の展望について

GFA Capital社は、暗号資産ディーリング業務の拡充と収益機会の最大化を目指し、引き続き市場の動向を注視しながら適切な投資判断を行ってまいります。

基本的な投資方針としては、暗号資産全般を重要な戦略的準備資産と定義し、中長期的なスパンに基づき日々ディーリングに取り組んでおります。

また、暗号資産市場の発展に伴う新たなビジネス機会を積極的に取り込み、GFAグループ全体の企業価値向上に努めていきます。

なお、本件が当社連結業績に与える影響などはございません。

#### ■ 運営会社概要

会社名：GFA Capital 株式会社

所在地：東京都港区南青山二丁目2番15号ウィン青山 BIZ+

代表者：代表取締役 松田 元

事業概要：企業・ファンド等への投資及び投資先支援、投資運用に関するアドバイザー事業

以上